

No.	質問	回答
1	工期や仕様項目に対して、調査業務としては予算規模がやや大きいような印象を受けますが、予算を踏まえた提案の方向性として、「サンプル数の量的な担保」や「実証調査等、仕様書掲載調査からさらに一步踏み込んだ検討に資するような調査の追加提案」、「仕様書掲載調査とは全く異なる切り口の別調査の追加提案」等、発注者の想定や要望はありますでしょうか。	基本的な業務は仕様書に、提案を求める事項は提案説明書に記載されているとおりです。本市として、仕様書及び提案説明書に記載されている事項以外に追加でご提案いただく内容について、指定や要望はございません。
2	本業務における各種調査の前身となるような調査や類似の調査等、設計を踏襲すべき調査の有無についてご教示ください。また、そのような調査がある場合、調査票や報告書等を開示いただくことは可能でしょうか。	「調査業務」としての類似事業として、過去に「スノーリゾート推進に係る基礎調査」を実施し、報告書を作成しておりますので、下記リンク先をご参照いただければと存じます。 https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/snowresort/documents/snowhoukokusyo.pdf
3	本業務の目的として、 ①スキー場の受入環境整備及びコンテンツの充実 ②インバウンドを始めとした観光客が札幌のスノーリゾートを快適に楽しむための情報発信やサービスの充実 ③インバウンドを呼び込むためのプロモーションの充実 の必要性が挙げられており、それぞれ①は仕様書4(2)、②は仕様書4(3)、③は仕様書4(3)と連動したものと見受けられますが、①は国内外が同等、②はやや国外より、③は国外に特化したものと理解してよろしいでしょうか。	①・②は国内/国外の明確な割合はございません。③が国外(インバウンド)に特化ということについてはご認識のとおりです。 なお、③は仕様書4(3)よりも、仕様書4(4)との関係性が強いものになります。
4	「海外に向けたプロモーションに関する調査・検討」は、現在別途広告されている「令和6年度スノーリゾートシティSAPPORO推進に係る欧米豪メディア招請業務」と連動し、欧米豪を対象としたほうがいいでしょうか。あるいは、業務の重複を避けるため、当該業務とはすみ分けて、別の対象(例えばアジア圏等)を提案したほうがよろしいでしょうか。	別業務になりますので、連動又は重複を意識していただく必要はございません。

No.	質問	回答
5	提出書類のうち、企画提案書の副本においては「提案者の団体名称が記載されていないもの」とされていますが、伏せるべき情報としては、社名やロゴ等の直接的な表現のみで、業務実績等提案者を類推するような情報までは厳密に伏せる必要はないという理解でよろしいでしょうか。また、連携を想定する事業者名や個人名の記載は伏せるべきでしょうか。	一概には言えませんが、業務実績まで伏せる必要はございません。連携を想定する事業者名・個人名は伏せていただければと存じます。
6	実施委員会によるヒアリングにおける提案者の最大出席者数は最大3名とのことですが、人数以内であれば協力会社等の同席も認められますでしょうか。	計3名以内であれば協力事業者様の同席も可能ですが、少なくとも1名以上はご提案事業者様ご参加いただきますようお願いいたします。
7	市内6スキー場基礎調査は、実地調査として今シーズンの来場者を対象に実査すべきでしょうか。あるいは、過去数シーズン及び今シーズン来場した経験を持つパネルをスクリーニングしたWEBアンケート等による調査方法も提案の範囲として認められるか。	市内6スキー場来場者の状況を把握するに当たっての調査手法については、適切と判断されている事項をご提案ください。